

山 ゆ り

5 - 6 月号 No391 2020 年 5 月 1 日

初号発行: 1972 年 12 月 25 日

山ゆりの会

年会費 1000 円 (郵便口座 00230-2-42601)

〒246-0025 横浜市瀬谷区阿久和西 2-25-16 草野正昭

Tel/Fax: 045-364-6515 メール: VZM03024@nifty.com

URL : <http://yamayuri.d.dooo.jp/>



2 月山行 曾我丘陵・曾我梅林

2 月 16 日参加者: 稲田 稲本 小野寺 加藤 河又 曾根 河野 松田 草野 (9 名)

■山ゆりのシニアの皆さんは元気です。雨がしっかりと降る中でも 9 人が国府津駅に集合しました。アメダスのお昼ごろに雨が上がるという予想に期待して 10 時過ぎに出発しました。駅裏から地図に示された山道を登りますが、途中から獣道になってしまい、引き返すことになりました。途中で山ゆりの一行を自宅から見ていた親切なおじさんが家から出てきて、光明寺からの登りを教えてくれまし

た。感謝感謝です。

光明寺入口から、斜面にみかん畑が広がっている曾我丘陵の農道を黙々と登りました。晴れていれば富士山を正面に箱根や丹沢の山々と小田原の街並みを展望できる素晴らしいコースです。曾我梅林は白梅、紅梅、枝垂れ梅が満開でした。

次は天気の良い日に曾我丘陵と曾我梅林を歩くことを楽しみにして下曾我駅に 2 時前に到着しました。(河野正典)

■曾我丘陵ウォーキング 昨日の天気予報では今日は雨。朝起きて空を見れば朝焼けが。これは天気下り坂の印し、雨具をザックに詰め出発。国府津駅集合、改札口を出たら雨は本降りです。久しぶりの雨具着用の山行。頭の中で ♪Just walking in the rain~♪と昔の歌が出てきて！雨降りの中の歩きも何か楽しみに。道は人家を離れ滑りやすい足もとに、その先は藪こぎをしなくては進めないルート、Uターンして元の道へ。みかん畑の脇道を登り振り返ると、晴れていたら見えるであろう町並みの先に海が、でも霞んで灰色一色。色々な種類の梅の花、お天気が良ければたくさんの人達に愛でてもらえるのに！生憎の雨降りでもまばらです。曾我梅林の中を通り下曾我駅へ。松田乗り換えで小田急へ。



2/16: 曾我梅林

が松田山の河津桜がきれいに咲いているということで、3名だけの下車組、即決で桜の花見へ。満開の桜と黄色の菜の花。ここも雨だから人が少なく、桜の花をゆっくり観賞できました。雨の山行、来て良かった。花三昧の1日でした。(稲本なお子)

3月山行 三轟山(みかもやま)

3月22日 参加者：稲田 稲本 大野 小野寺 加藤 名須川 曾根 浜田 西村 河野 神保 松田 草野 草野 (14名)

■週末の外出自粛要請がでる中、自粛の同調圧力は無視して実施した三轟山は期待を裏切らなかった。三か所のカタクリ自生地はどこも斜面全体を紫色に染めるほど咲き誇っていた。標高 229m、ウォーキングに毛の生えた位と考えていたが大間違いだった。直線的に整備された急階段の連続した登りにはいささか参った。下山場所の道の駅では十分な買い物の時間があるはずだったが、とんでもない、バスの発車時刻に15分ぐらいしか余裕がなかった。(M. K)

■三轟山のカタクリ

以前に奥多摩の御前山や新潟の角田山で見たカタクリが強く印象に残っていました。3月の三轟山の群落は、それらを遙かに上回る規模で、期待以上の感激でした。

登山口から歩き出して間もなく、次々に下ってくる人達に出会い、この時間にもう降りて来るの？と不思議に思っていたら、麓近くに在るカタクリの群落を見に来た観光客の

方々でした。我がメンバー14名は、その群落を足早に歩きながら眺めて直ぐに、本来の登山道に戻りました。この山、僅か標高229mの割に、きつい上りと昼食後も油断ならない急な下りが続きました。「カタクリで有名という割に、あれだけ?」「だったら、もっとゆっくり見てくれば良かった。」等の声もありましたが、下るに従い南側の斜面にも視界一面カタクリだらけと言える場所が三か所程在って、十分楽しめました。

折から、コロナウイルスの感染が日増しに拡がり、山行の実施が危ぶまれましたが、リーダーの決断に感謝感謝です。スイカの割引切符を紹介してくれたNちゃんにもね。

(松田雄二)



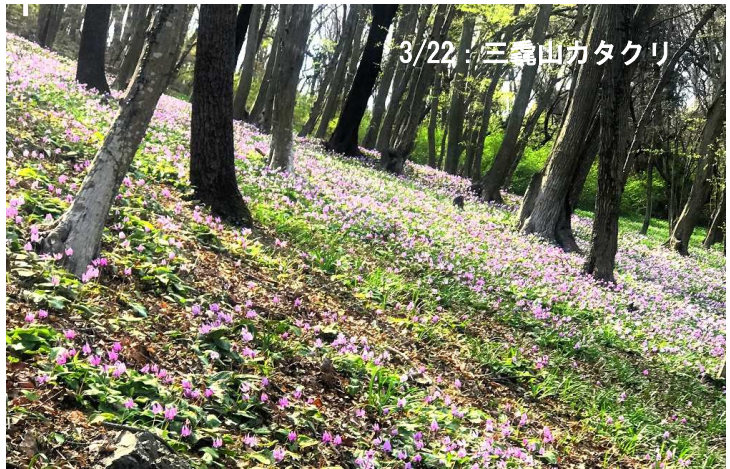
3/22 : 三轟山

■2度目の三轟山 山ゆりに仲間入りして1年少しの平成14年、南口駐車場までタクシーで行き西口管理センターまで歩いています。Oさんが「階段が急で大変だった。」と話していましたが私の記憶には花の多さに圧倒されたことしかありません。

管理センターから歩き始めてすぐに水芭蕉が咲いているのに驚き群生地へ、今年ほどの花も例年より早いようで盛りを過ぎているようでした。ハイキングコースの長い階段を上り山頂へ、標高は229メートルながらかなりの急坂。昼食後カタクリはちょっと期待外れの感があったので中岳下のカタクリ園への急坂を下ると両側にアズマイチゲやニリンソウの花々とともにたくさんカタクリが咲いていました。中岳や三轟神社には寄らず南口の道の駅からバスで岩船駅に戻りました。

今までいろいろカタクリの咲く所に連れて行って頂きましたが三轟山が一番。この景色いつまでも続くことを願っています。
(曾根弘子)

■今年の桜は早起きだったのに、コロナ騒ぎで春色もぼやけてます。だから、みかも山遠足はいつも以上にうきうきでした。交通費を安くする方法をあれこれ探しだしてくださったり、「休日おでかけパス」購入パターンがいくつかあったり(メンドクサイですよ!)で、出かける前から楽しみ倍増でしたよね。みかも山は久しぶりの人混みで、自粛の二文字はどこへやら!素晴らしいカタクリの群生は、大勢の人たちをwelcomeと迎えてくれました。木々の間から射し込む光がカタクリの花々を魅力的に演出し、春に包まれたひととき。しかし、ハイキングコースは甘く



なかった!HPで見たみかも山公園は、フラワートレインが走りのんびりした散策の雰囲気。山ゆり認定★とのギャップにハテナ?で

したが、気を許してしまったのです。そのツケは翌日午後から二日間ド〜んきました。

今カタクリの写真を眺めながら、こうやって仲間たちと歩けることはシアワセなんだなあ、と思っています。(加藤英子)

■未だ弥生3月なのに20度を超える気温に、Tシャツ姿でよい汗を流しました。カタクリの花を見て、林の中を歩くことが出来最高でした。カタクリの花は最盛期を過ぎていましたが、斜面に広がるカタクリの群生は見事でした。

この三轟山の自然は万葉の時代から人々に四季折々の楽しみと癒しを与え、地元の人たちの保護活動で群生地が残されてきたことを観光協会のパンフレットで知りました。

標高229mの低山ですが結構きつかったです。このところコロナ感染拡大で委縮した生活と行動を強いられている中で、久しぶりの登り下りに体力の低下と日頃の運動不足を実感させられました。皆さんコロナに負けないで、大いにウォーキングして元気に過ごしましょう。(河野正典)

**新型コロナウイルス感染拡大のため、4月、5月山行は中止とします。6月は以下のよう
に実施します。特別山行は7月末に予定。 コロナの収束は全く見えていません、更
に変更になるかもしれません。皆様感染しませんように。**

■6月山行：6月14日(日) 大山街道ウォーキング 小雨決行 ㊦

今回は本厚木駅から愛甲石田駅までの約5.3kmと愛甲石田駅から石倉バス停までの約6.6kmを歩く予定です。

・集合：小田急線 本厚木駅朝9時 ・持ち物：昼食お弁当、雨具、ほか

■7月山行：7月12日(日) 岩殿山(いわどのさん)634m 小雨決行 H★

山全体が戦国武田氏の家臣小山田氏の山城・岩殿山城。

・集合：JR利用、JR大月駅9:27着で集合ください。

八王子発8:28—高尾着8:35、高尾駅2番線8:45発 小淵沢行きに乗車ください。

・持ち物：昼食お弁当、雨具、ほか

あとがき ・新型コロナの感染拡大が4/10現在世界214ヶ国地域162万人に拡大し、死者は10万人をこえた。 ・新型コロナの何が恐怖か、それは感染者の8割ほどが症状が無く本人が気づかないところにある。政府は東京オリンピックの開催のため重症者以外のPCR検査を避け感染者数を少なく見せてきた。2~3月の検査件数は全国で31万人の相談者に対し検査を受けられた人は約4%の約12500人、95%以上の人は検査を受けられず本当の市中感染率が分からない。日本も諸外国の様に徹底したPCR検査を実施すべきと多くの識者が指摘している。 ・安倍総

理は総額460億円かけてアベノマスク2枚を配るというが市中で買えるようにしたり、病院に不足している医療器具を買う方に回すべきだ。 ・横浜市のカジノの是非を問う住民投票と林市長リコールの署名はコロナのためしばらく延期を決めたが一方で横浜市はカジノ推進のための4億円を含む本年度予算を可決した。林市長の住民無視の姿勢には腹が立つ。 ・安倍総理の数々の疑惑問題がコロナの陰に隠れてしまったが、決して忘れられたわけではない。

・列島今コロナ不況や花の冷え (MK)